

目黒稲門会会報



(題字：眞仁田 勉 初代会長)

第62号 2014年3月

発行人：大野 利幸 編集長：地田 博昌 事務局長：吉本 政治
事務局：〒152-0031 目黒区中根1-15-4 Tel 03-3725-3700

2014年新年会を開催

2014年目黒稲門会新年会は、1月19日(日)目黒雅叙園「華しずかの間」にて開催された。会員・ご家族・ご友人78名、来賓2名、現役学生3名、マンドリン楽部6名、計89名の盛会だった。

笠谷興一朗幹事の司会で第1部講演会の講師・熊谷和久氏が紹介された。

演題は「民間から見た教育現場」。民間から公募された第1号の校長として、企業人のノウハウを使って市立高校を発展向上させる奮闘の模様をお話し頂いた。(講演要旨後述)



しばし休憩の後、第2部の懇親会に移った。引き続き笠谷幹事の司会で、大野会長より主催者としての挨拶があった。

明けましておめでとうございます。只今は熊谷様より講演を頂きました。色々な方のお話をお聞きするのが新年会の恒例となっています。



昨年は新設の早稲田スポーツ観戦部会で、5試合くらい見に行きました。ラグビーの観戦では明治大学に勝ちました。スタンドに目黒稲門会の旗を立て、若い人と一緒に応援すると若返る気がします。

今年も新しい部会が増えたらいいと考えています。昨年は13の部会活動で、色々な趣味を持った人が仕事を卒業した中で活動の場に参加出来るのが目黒稲門会の一つの役割です。他の校友会からも評価されています。

もうひとつの特色は「若木会」です。中西部会長が、他の稲門会の校友も呼んで一緒に活動をしています。良いことだと思います。

昨年の総会から、この場に現役学生を招待し、今日も3人見えています。卒業した後は目黒稲門会に入ってもらいたいと思います。会費を払うだけで活動に参加していない人もいますが、どこの部会でも

良いので顔を出して頂きたいと申し上げ新年の挨拶と致します。

ここで、川井信義会員の発声で乾杯。歓談に入った。司会より、澁谷美香、柳澤秀樹の初参加会員の紹介があった。

来賓の青木英二目黒区長より挨拶があり、続いて、参加の現役学生、佐藤隆巧、水島寿美、山口優幸の各氏が紹介された。

本日ご提供のお酒の紹介があり、宴も盛り上がるなか、アトラクション、「マンドリン楽部」の演奏に入った。6人編成で「紺碧の空」「宇宙戦艦ヤマト」「見上げてごらん夜の星を」など6曲を披露、盛大な拍手を受けた。



歓談に華が咲き、おいしいお料理とお酒、妙なるマンドリンの調べに包まれ、締めは松田哲也会員のリードによる校歌斉唱。金井豊男副事務局長の中締め挨拶でお開きとなった。(田島 記)



(熊谷和久氏講演要旨)

日本楽器製造㈱の人事労務部、旭化成㈱の住宅事業部、同子会社の社長を経て、教育現場に入った。

平成14年6月、日経夕刊に横須賀市が校長を公募する記事が出た。平成12年に省令が変わって、教員免許がなくても校長になれるようになった。論文と面接で、117名の中から選ばれた。

11月、12月は市役所の中で教育。3カ月で普通校、工業校、商業校の3校を統合する準備。商業校の校長が、交換留学の試験で担任が1人の書類を出せず、受けられなかったので家に謝罪に行くと言う。おかしいなと思った。その子にとって年1回のチャンスの留学試験。翌日朝、もう1回試験を受けさせようと言った。教育委員会に持っていく考えもない。謝って済ませたいと言う隠蔽体質。信頼感が失われる。

平成15年から校長。学校から5分のところに家を借り、定時制の終わる夜10時まで居られる。

360名の入学生の顔と名前を覚えた。「○○君!」と言うとびっくりする。学校を新しく作った。ガラス張りで丸見え。授業中先生の授業を見回ると、間違っただけを書いている人がいる。あとで呼んで教えたが、評判が悪い。評価されることに慣れていない。すごくナイーブで指摘されることに弱い。

図書館を土日閉めていた。横須賀市は100億円で学校を作った。償却は1日100万円だ。2日休めば200万円。有効活用して市民も生徒も使えるようにと提案した。教育委員会は人員が必要になると反対。私と副校長と、教頭と3人で勤めた。図書館で一部の生徒にZ会の勉強をさせた。その連中から、東工大、早稲田、横浜市大に合格した。実績を作るのが大事だと感じた。

学校に音楽ホールを作った。360名収容、シェル型、残響1.5秒、反射板付き。今度はピアノが欲しい。市役所は入札なので、入札でカワイが決まったが、こちらで、横須賀文化会館の古いスタンウェイを500万円でオーバーホールして音楽ホールに入れた。音大に進学した子もいる。芸術には、それなりの物を使わないといけない。

学校の廊下はコンクリート打ちっぱなしで寂しい。大日本印刷に複製画をもらって飾った。昼夜1000名以上が見る。美術部が描いた絵を飾った。高校の美術部の大会で優勝するようになった。人はそういうもので、それなりの育ちをする。学校内での争いもなくなった。

全員にパソコンを持たせ、学校の伝達事項や、担任や私から各人へのメールもできる。授業中に寝るんじゃないとか、活躍を褒めたり、風邪で休んだら激励するとか。校長と個人がつながってくる。保護者からのクレームも全部校長に来る。「クレームは改

善の宝です。」と言うと、教員は奇妙な顔をしていた。

4年間、どこまでできたか判らないが、生徒と保護者には受け入れられた。皆とは、今でもメールやフェイスブック、ミクシィなどでやりとりがある。企業では当然のアフターサービスメンテナンスを卒業生たちに行っている。



新年会初参加者：左より柳澤、澁谷の各氏



現役学生の参加者
左より山口、佐藤、水島の各氏

新年会出席者 (敬称略)

(来賓)

青木英二・目黒区長、熊谷和久・講師

(現役学生)

佐藤隆巧、水島寿美、山口優幸

(マンドリン楽部) 6名

(会員・ご家族・ご友人)

朝比奈義雄、浅海敏之、阿部喜久雄、荒瀬修一郎、安藤 孝、安藤虎雄、安藤嘉昭、石川智子、津田千恵(友人)、市瀬一江、市瀬達夫、伊藤 悠、稲垣博信、猪名川一雄、井村正陽、岩佐幸子、岩佐好恭、岩崎春雄、海口昭治、大内秀明、大久保健治、大杉邦雄、大竹一子、大野利幸、大野令夫人、小倉利允、尾崎 充、小野 満、影山信輝、笠谷興一朗、梶 恵作、加藤榮護、加藤令夫人、金井豊男、狩野俊夫、川井信義、菊地崇之、木村昭一、郡山弘文、郡山令夫人、後藤克彦、佐久間 喬、佐々木芳子、佐藤喜孝、澁谷美香、嶋田勝彦、島田久家、鈴木政雄、高野 孝、田島順一郎、田畑 繁、地田博昌、千野逸平、手塚仁雄、外岡 明、外岡令夫人、永井正孝、中島佑三、永田耕治、中西元樹、成田隆一、林田雅敏、林田令夫人、伏見和則、堀井良造、牧野武夫、松戸 猛、松田哲也、眞仁田 勉、水野弘文、村上 柁、村山 弘、森家一三、保井 正、柳澤秀樹、横山 大、吉田博行、吉本政治

目黒稲門会会報



(題字：眞仁田 勉 初代会長)

第61号 2013年12月

発行人：大野 利幸 編集長：地田 博昌 事務局長：吉本 政治
事務局：〒152-0031 目黒区中根1-15-4 Tel 03-3725-3700

2014年 新年会開催のご案内

2014年新年会を1月19日(日)目黒雅叙園にて、下記の通り開催致します。

今回は、講師に横須賀市立横須賀総合高校の初代校長を勤められた熊谷和久氏(昭和45 政経)の講演を企画しています。テーマは、『民間から見た教育現場』です。熊谷氏は、都立青山高校から早大政経学部卒。旭化成(株)を退社後、前述の民間校長として4年間勤務され、その後学校法人数校の理事、事務局長等を歴任。お仕事の合間に少年ラグビーの指導に当たられるなど、多彩なご経験をお持ちです。民間とは異なる教育現場での生のご体験をご披露頂けると存じます。

教育、人づくりの重要性が叫ばれる昨今、創立150周年を目指し、全ての分野でグローバルリーダーの輩出を目指す早稲田の一員として、絶好のテーマと思います。皆様多数のご参加をご期待し、ご案内申し上げます。

なお、懇親会には先の総会と同様、現役学生を招待しております。また、特別イベントとして早稲田大学マンドリン楽部の演奏を計画しています。

記

1. 日 時：2014年1月19日(日)16時開会
(受付開始 15時30分)
2. 会 場：目黒雅叙園(2階 華しずかの間)
東京都目黒区下目黒1-8-1
電話 03-3491-4111
JR目黒駅西口、東急目黒線、地下鉄南北線、三田線目黒駅から行人坂を下って3分(権之助坂を下って5分)
3. 講 演：16時～17時
講師 熊谷和久氏
演題 「民間から見た教育現場」
4. 懇親会：17時～19時
5. 会 費：会員10,000円、ご家族5,000円
当日会場受付にてお支払い下さい。
6. 同封の返信用はがきを、12月20日(金)までにご返送下さい。

講師プロフィール



熊谷 和久氏

昭和22年3月新宿区生まれ。満66歳
昭和45年3月早稲田大学政経学部経済学科卒
昭和48年3月ヤマハ(株)を経て、旭化成(株)入社
平成10年10月旭化成エーティーホーム(株)代表取締役就任
平成14年11月横須賀市教育委員会参事
平成15年1月横須賀市立横須賀総合高校初代校長就任
平成19年3月同校定年退職。その後、学校法人数校の理事・事務局長・教員・評議員等を歴任
平成24年4月湘南教育研究所設立、代表に就任
平成25年2月より、学校法人ステパノ佐伯学園・御国幼稚園園長に就任、現在に至る

早稲田大学マンドリン楽部

1913年に創部され、今年100周年を迎えた伝統あるオーケストラです。

部員は約70名。早大のみならず他大学の学生も在籍しています。「紺碧の空」、「都の西北」を始め、素晴らしい演奏をお楽しみください。



(田島記)